

幻想書人（書は文字書は自分）

ほぼカニはおいしい

ほぼカニという本物のズワイカニを彷彿させるおいしいかまぼこがある
見た目色合いもズワイカニ脚肉しかしカニではない
書道展も「日展書の部門」を今は「ほぼ読売」と言うらしい
冷静に検証して見るとなるほど「ほぼ」だと納得する
書道展漢字部にあたかも本人の作品であるかのように出品した人々
一体何人いるのかすべて同一社中団体
中央の書展で審査委員職業書家企画運営委員でもわからない
そして五字句誤字「得」「徳」もわからない
賞状誤字「審査」正当「審査」もわからない
審査委員長遅すぎる犯罪は早い対応が必要だ
主催者社長出番では・・・70年の歴史に泥 笑 終焉
今年展覧会は不正をされた個人社中団体は辞退すべきと提案
クロクオナーシップで守るのか
しかし作品図録CDは個人名社中団体指導者を生涯語り続ける
真摯に作品を制作している出品者に対する冒瀆
公募展に足を運びお金を払い作品を鑑賞する世間一般市民の期待
と信頼を大きく裏切るもの
最後に公募書道展とは・・・



2024年 8月 1日 煌陵

参考 図録河北書道展漢字作品 ホームページ宮城シニア美術展漢字作品 CD書作品図録

